

をしている。また、檀原運動公園で秋に「飛鳥リレーマラソン」の開催を計画している。



キッズヘキサスロン 白檀北学校

一般質問
奥田 寛
(至誠会)

医大前新駅他の計画

問 財政見込みには、医大関連の金額が含まれている。前部長は、議会で医大病院前新駅ありきと答弁をしていたが、その計画に変わりはないか。

答 医大を中心とした街の中に新駅があるのは自然な姿であり、新駅の設定を見据えたまちづくりを進めたい。

問 では、財政見込みに新駅

部分が含まれていないのは何故か。

答 グランドデザインが定まっていない状況で、新駅についての具体的な検討に取りかかる環境が整っておらず、事業費が定まっていない。

問 定まっていないことも、目安をつけることは可能では。例えば橋上駅、普通駅、地下駅の3パターンでは幾らかなど考えていないのか。

答 類似規模の平面駅舎ベースでの概算では、15億〜20億程度。ただし、用地費は含んでいない。地上や地下駅舎となると、条件がかなり変わる。

問 その概算額に対し、地上だとプラス10億、地下だとプラス20億円位のイメージか。先例や見込みは。

答 地上、地下に関し、幾ら加算するか積算していない。

問 前部長に八木西口駅を継続させるかどうかの質問をしたが、回答は曖昧だった。残すのか、残さないのか。

答 グランドデザインが定まっておらず、八木西口駅の存続に関しては答えられない。

問 市としてのビジョンを聞いている。鉄道会社が自己負担しない請願駅なら、八木西

口駅は潰せないとと思うが、近鉄が利益ありと判断し自己負担をし、八木西口駅をなくす

代わりに新駅を造るのなら、駅を動かすだけの話である。つまり、新駅を造るに当たり、行政側が費用負担する計画を持つという事は、八木西口駅を潰す計画を持つてはいけないということになるが。

答 請願駅は考えていない。近鉄には応分負担してもらえよう協議をしていきたい。

問 応分負担を求めるということは、八木西口駅を新駅の場所に動かすという近鉄自身の負担の部分を含み、遠い先に八木西口駅が潰れる可能性を想定した話になると思うが。

答 八木西口駅が廃止になるという前提で進めているわけではない。

問 「八木西口駅も残す」とはつきり言えないのか。

答 近鉄の意見も踏まえないならばならない。現在は言及した答えはできない。

問 八木駅南のPFI事業の127億円には、この本庁舎の建て替え96億円分を含んでいる。ということは、市役所の拠点は、新庁舎の基本計画に則りこの場所である。最寄

の八木西口駅が無くなるが、本庁舎はこの場所というアンバランスな計画で良いのか。

答 八木西口駅は当然あると思っているが、存廃を最後に決めるのは近鉄である。

問 近鉄に新駅の負担を願うと同時に八木西口駅の存続も願うというスタンスか。

答 八木西口駅、また新駅についても、近鉄に応分の負担を願いたいと考えている。

問 3月17日付けの財政見込みの資料では、一般会計分の借金残高のピークは平成33年で455億円となっている。これは、医大の新駅部分は含んでいないが以前の数字に100億円を増やした額である。

八木駅南と本庁舎のPFIを考えた場合、起債以外の借金が八木駅南のでは100億円近く、本庁舎の建て替えには50億円近く生じるため、借金総額は、もっと多いのでは。

答 PFI事業の返済も含めた起債残高が455億円である。

問 この外にPFI事業分として一般会計で100億円以上の借金負担があるはずだが。

円借り、後年度で順々に返すという分も含んでいる。

問 起債償還予定表を見ると、借金残高の455億円のうち、PFI事業の127億円分の起債は28億円に過ぎない。ということは約100億円借金は残っているわけで、この分は、別にあることになるが。

答 借りた起債と返す起債があり、その差し引きも含めた上で財政が運営されている。歳出として、平成30年度から八木駅南の償還分を6億円ずつ返す分は含んでいる。

問 通常の起債額だけでなく、土地開発公社の抱えている部分や将来買い戻さなければならぬ部分を含めた将来負担比率で見ると、類似団体と比較し高かった平成16、17年の借金総額と同じような数字になると思われるが、将来負担比率について考えは。

答 将来負担比率は、平成40年度までは出していない。本市は、類似団体に比べ将来負担比率が悪く、455億円ともなると今より負担比率が上がることは明らかだが、その中でも財政運営ができるというところで財政計画を示し、127億円の債務負担行為を予